

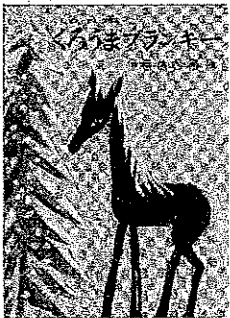


12月生まれの絵本作家 堀内誠一

堀内誠一は1932年12月20日生まれのグラフィックデザイナーで絵本作家でした。

『ぐるんぱのようちえん』『たろうのおでかけ』など絵本を70冊以上も作りました。

最初に作った絵本は『くろうまブランキー』で、クリスマスにおこった心温まるお話です。



「くろうまブランキー」

伊藤 三郎 再話 堀内 誠一 画 福音館書店

黒馬のブランキーは一生懸命働いても、小屋も作ってもらえません。

やがて年取ったブランキーは主人に力いっぱいたたかれて、道に倒れてしまいます。その晩、サンタクロースが天からおりてきて、その首をなでると…。

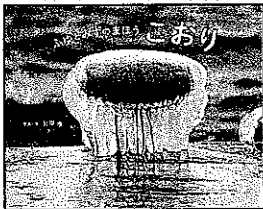


おすすめの冬の絵本



「ふゆとみずのまほう こおり」

片平 孝 写真 文 ポプラ社



冬、空気がだんだん冷たくなると、いろんなところに氷があらわれはじめます。

水たまりや外の水道などの身近なところから、山奥の湖や川、海岸などの水辺まで、冬の世界にはおもしろい氷がいっぱい！ どうやってできたのかな？



「ゆきのうえ ゆきのした」

ケイト・メスナー 文 クリストファー・サイラス・ニール 絵
小梨 直 訳 福音館書店



雪のうえは、しんと静まりかえって、まっ白。でも雪のしたには、まったく別の世界があって、リスやウサギ、ネズミやウシガエルにクマなど、いろんな生きものたちが寒さや危険から身を守りながらくらしている…。

